



西村 あつ子

まちの美化対策について

問 ①路上喫煙等の制限に関する条例の効果②重点区域の見直し③喫煙スペースの改善を④ポイ捨ては、ごみ等も含め条例に。

答 ①着実に成果を挙げている。②条例見直しにあわせて検討。③検討すべき課題と認識。④条例見直しの際の検討項目の一つ。

児童発達支援センターの開設に向けて

問 ①児童発達支援センターはいつ整備計画に反映させていくのか。②市長公約であるが、いつ開設

するのか。

答 ①庁内委員会の中で検討、年明けごろに市として内容確定予定。②今任期中に利用者が満足できるセンター開設に向け取り組む子どもたちを取り巻く環境について

問 ①新入学用品費の3月支給を。②学習支援のボランティア登録を。③いじめの対策。④三中のオンライン英会話へ支援を。

答 ①制度上想定されていないと認識②積極的に協力を募る③生徒が主体的に撲滅宣言等実施④継続できるような支援方策を探る



鈴木 えつお

3つの福祉作業所の移転統合について

問 ①作業所やグループホームなど切実。暫定が長引く場合は面的整備も検討を。②子ども家庭支援センターの移転先確保を。

答 ①状況を見据え、適切に対応。②公共施設整備計画改定検討委員会でも議論していくものと認識。

地域センター図書室の午前中からの開室を

問 ①3月議会の答弁で試行的開室を検討することになったが、その後の取り組みは。②今後、本格実施へと進めてほしい。

答 ①開室時間を2時間早め、7月21日から8月4日まで試行実施。②運営協議会とも協議し慎重に検討。

市長就任挨拶は8万市民の代表にふさわしく

問 市長は就任挨拶で「私への誹謗中傷もあつた」と相手陣営を非難した

答 誹謗中傷があつたことは事実であり、それを信じた方もいる。市を発展させる上で支障のないようさらに誤解を解く方法を検討する。



石川 和広

市における保険事業について

問 ①国民健康保険事業財政健全化計画の取り組み成果は②本年度策定されたデータヘルス計画の進捗状況は③これまでも提案をしてきたが、健康マイレージ制度の導入は④国保都道府県化への課題は何か。

答 ①徴収率向上、医療費適正化等効果も上がっている。②データ分析は9月で終了、この後事業選定を行う。③導入に向け引き続き調査研究し制度構築していく。④タイムなスケジュールに遅れず準備すること。

市の中期ビジョンに向けて

問 ①公共施設再編方針は公共施設等総合管理計画の中で整理をしていくべきでは②これまでも提案をしてきたが、リース方式によるLED街路灯の一括導入は③人事評価の基準等をHPで公開できないか。

答 ①方針に示す取り組みはめどが立っており、継続の必要性は感じていない。②LED化の推進には有力な方法。③今後公表に向けて検討する。



佐々木 貴史

多摩川土手の天端舗装について

問 多摩川土手の舗装は多くの市民の願いである。豪雨等水害時に少しでも決壊の進行をおくらせ、逃げおくれる人たちを少なくする。市民の生命・財産を守ることは最優先すべきであるが市に考えを確認する。

答 市の「考え方」を踏まえた整備とするよう国に働きかけを行うとともに、近年頻発している水害を考慮し、想定以上の対応が必要であることから、一刻も早く対策をとることが重要だと考えている。

市長公約の実現に向けた取り組みについて

問 ①市民1人当たりの借金を1万円減らし貯金を1万円増額の具体的内容は。②前市政と高橋市政での財政指数について、基準にする年度により数値が違いくわがらう。誰もが納得のいく考え方はないか。

答 ①平成31年度末までに市債残高を19.5億5000万円、財政調整基金残高を21億2000万円とする。②市長就任時点の数値と退任時点の数値を比較することが、実態に近いものと考えられる。



田中 智子

空き家対策について

問 ①空家等対策庁内連携推進会議の検討状況②空き家の実態調査状況③多世代が集まり、交流できる居場所として整備を④世田谷区などの先進市を参考に利活用の検討を⑤総合的な空き家対策条例の検討を。

答 ①5回の会議で現状、他市の状況、空き家等対策計画、実態調査、今後の方向性等を検討。②現地調査結果を集計中。③地域特性を踏まえ検討。④参考にしながら検討。⑤他市の状況を踏まえ検討。

多摩川住宅周辺のまちづくり

問 ①多摩川住宅街づくり提案について市の受けとめ②まちづくり協力を金についで③旧四小跡地の活用は複合施設などとして検討を④こまほっとシルバークラウドの実績⑤多摩川住宅周辺にも早急に設置を。

答 ①十分に尊重し、地区計画の策定を進めたい。②調布市と連携し検討。③地区計画策定の中で意見を聞きながら検討する。④27年度延べ相談件数は1345件。⑤今任期中に設置予定。



小野寺 克己

窓口サービス向上の推進について

問 ①多くの市民が集うイベントでマイナンバーカードのブースを設けて推進する等の提案について市の見解は。②窓口対応のFAQをデータベースにまとめ、業務改善につなげる検討について市の見解は。

答 ①屋外で適切な身分証明書の顔写真を撮影できるか等の課題。窓口でスマートフォンでの申請支援等検討。②一定の課題整理はできている。来庁者の声を整理し新たに課題が発生した際は改善に取り組む。

若者を守るための「鬱病・自殺対策」について

問 ①ゲートキーパー養成講演会を実施している理由を伺う。②メンタルヘルスチェック「こころの体温計」は本人以外の身近な人が確認できる。補助制度活用で導入できるこのアプリについて市の見解は。

答 ①3年度にわたり市民及び関係者向けゲートキーパー養成講演会を実施し、一定の成果が上がり、事業内容の見直しや今後の展開を検討するため休止している。②今後の導入に向け検討していきたい。



亀井 和美

安心して安全なまちにするための防犯カメラ

問 ①公共施設に防犯カメラの設置を！安全性についての見識。②学童保育所と児童館。設置されていない所があるのはなぜ。

答 ①安心・安全にさまざまな効果があり、犯罪の証拠だけでなく抑止効果も期待できる②施設改修に合わせて設置しているため。

と今後の取り組み。

問 ①健康寿命の延伸に対する認識。②介護ボランティアポイント制度の認識。③2力所目の「シルバークラウド」開設はいつ。

答 ①市民一人一人の健康づくりを取り組む②社会参加を促しボランティア活動の励みになる③早期設置に向け前向きに取り組む。



山本 暁子

障がいのある人もない人もともに生きるために

問 ①障害者差別解消法と合理的配慮についての認識は②心のバリアフリー事業とは③狛江駅周辺における点字ブロックの敷設実績と今後④学校におけるディスプレイシア支援の実績。⑤タブレット環境の保障を。

答 ①取り組みべき対応がある方等に誠意を持って取り組む②障がい者作品展等③今年度一部改修、今後も計画的実施④拡大教科書活用等⑤台数制限あるが障害特性に応じ指導実施。

空き家の活用を進めるために

問 ①空家等対策庁内連携推進会議の活動内容②実態把握の現状③調査結果の報告予定④誰も安心して暮らせる住宅支援、低所得者への居住安定確保の支援とは⑤空き家活用の課題。

答 ①特別措置法施行状況、方向性等議論。②現地調査結果集計中。③できるだけ早い段階で報告。④住宅確保給付事業と都営住宅・公的住宅募集情報提供。⑤空き家発生を抑制するため地域特性に合った施策検討。

他市の状況を踏まえ検討。

他市の状況を踏まえ検討。

他市の状況を踏まえ検討。

他市の状況を踏まえ検討。

他市の状況を踏まえ検討。

他市の状況を踏まえ検討。

他市の状況を踏まえ検討。

他市の状況を踏まえ検討。